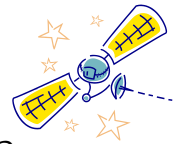


成瀬が丘 防災つうしん



No.6

平成28年11月13日
成瀬が丘自治会自主防災部



●スタンドパイプ購入



今年の防災訓練時にもメニューの一つとして訓練を行いました“スタンドパイプ”を町田市補助金を得て一台購入いたしました。スタンドパイプは町内の道路にある消火栓に接続して放水しますが、震災で火災が同時に多発した場合には消防車だけに頼ることはできないため、住民が自ら消火活動をするために配備するものです。

当自治会でもまず一台設置して、訓練を重ねながら徐々に増設して行きたいと考えています。

町田市の補助金は購入金額の2/3または10万円以下となっています。

●防災マップの更新配布



10年程前に作成・配布した“成瀬が丘防災マップ”を更新して再配布いたします。今年度、自主防災組織の情報部が中心になって防災マップの掲載情報の見直しを行い、先日各区で区長さん、班長さんの協力を得て各地の詳細を実地確認してもらいました。最終的な確認及び校正を行い、今年度中に防災マップ更新版を発行・配布いたします。

●避難施設(小川高校)指定

当自治会では災害発生時の“避難施設”について、小川小学校、小川高校、南第四小学校の3箇所の開設・運営委員会に参加し、町田市防災安全課及び近隣の町内会・自治会と共に検討と準備を重ねて来ました。現在各々の「避難施設開設・運用マニュアル」が完成し、いよいよ開設運営訓練を実施する段階になりましたが、災害発生時には一つの自治会として一箇所の避難施設に集中して管理運営することが重要と考え、ここで当自治会の避難施設を“小川高校”に指定することを決定しました。

(避難施設：災害発生で自宅に住めなくなった住民が短期・中期で寝泊まりする施設)

●各自が行う防災・減災

震災に備えて、まず各自ができることをもう一度見直し、今すぐ実施してください。

- ・自宅の耐震補強を行う。
- ・家具の転倒防止を行う。
- ・二階建では二階に寝る。
- ・ベッドの周りに重いものを置かない。
- ・水、食料の備蓄を行う。
- ・火を絶対に出さない。
- ・家族の連絡網を作る。
- ・隣近所の助け合い体制を作る。



以上